

## 事業所における自己評価結果(公表) 【児童発達支援】

公表: 令和3年2月24日

事業所名: 光愛りんごハウス

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・テラスや廊下等を使い、工夫している。・活動を工夫しながら行っている。・ややせまい所はあるが、配置を工夫している。	・活動によっては広いスペースを必要とすることがある。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・子どもの人数によっては少なく感じることもあるが、協力しながら取り組んでいる。	・増員があるとなお良い。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・階段が多く、バリアフリーの面では難しい点もあるが、支援者がつき、工夫している。	・バリアフリー化に関しては工夫が必要である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・清潔で心地よく活動している。・毎朝の掃除と消毒を行っている。・必要に応じてテラスを使用している。・掃除をこまめに行っており、活動中も換気をしている。・椅子や机等も児に合わせて調整している。・活動前、活動後に掃除を行っている。・活動に合わせて環境設定を行っている。	
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・朝のミーティングと活動後の反省を行っている。・全体でのミーティングを行い、共通理解を深めながらPDCAサイクルを作っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・評価表を見て御意見を参考にさせて頂いている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに掲載	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・行えていない為、外部評価の仕組み作りが必要である。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・今年度はコロナにより研修及び公開療育の機会が少なかった。・機会があれば参加するようにしている。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・利用児や保護者のニーズを考えて作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・相談支援事業所からの情報や連絡票をもとにしている。	
	12 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・ガイドラインをもとに設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援計画を踏まえ、その日の調子や疲れなどを考えながら支援している。・計画に沿って行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・担当者が立案し、他に良い案はないか話し合いながら活動を決めている。・活動計画をチームで共有している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・公開療育などの活動を参考にすることもある。・年齢などに応じて内容を変えたりしている。・研修で学んだことや日々新しい活動を取り入れられるよう勵んでいる。・意見をもらいながら同じ活動でも年齢やメンバーによって内容を変えていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・その児の発達段階に合わせながら計画を作成している。・子どもの状況に応じて作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎朝ミーティングを行っている。・毎朝のミーティングの中で、流れの確認や分担等共通理解している。・必ずミーティングをし、共有している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動終了後、振り返りを行い、内容や今後の活動について話し合っている。・必ず反省をし、共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・各自の日誌を毎回記録し、振り返りながら、毎日の目標、支援を話し合っている。日誌を書き、振り返りに役立てている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・担当者会議をもとに行っている。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・会議前は該当児について話し合ってから代表者が参加している。・参加する際、全員で状況を確認してから行っている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・母子保健課や、保健センター地域担当者と連携し、情報交換をしている。	・連携に関しては更に多くの関係機関と密接に連携をとる必要があると感じている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
関係機関や保護者との連携関係	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・入学、入園の際には連絡会に参加したり、情報を伝える機会を作つてもらったりしている。情報共有を行つている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・児童の通う幼稚園、保育園に保護者から同意を得た上で連絡し、連携を図っている。情報共有を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・勉強会や研修などを通し、連携を図っている。・研修に行ったり、公開講座に参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・保育園行事(もちつき大会等)と一緒に参加している。	・提携の保育園に活動によっては出入りする。保育園に通っている子ども同士の交流はあるが、他園に通っている子どもとの交流がほとんどないので工夫する必要を感じている。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・子ども部会への参加をしている同系列の相談支援事業所職員から情報を聞いて療育の参考にしている。	・鹿児島市は参加がないようなので、地域の療育先と連携したり、子ども部会参加者に研修内容を聞きながら、多くの情報を得て療育に役立てたい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・毎回連絡帳を持参し、伝達している。・保護者と直接会える際は伝達を行い、会えない際はノートで伝達を行っている。・活動時のすきま時間や給食時間など時間を見つけながら会話ができるよう工夫している。・母子通園の為、保護者と話をしたり、分離の際はノートで様子を伝えている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・面談や保護者会を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・入所時に所長から説明している。	
	33	児童発達支援カイドウブック「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・目を通して頂き、気になる所がなければ印鑑を頂くようしている。・保護者に説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・相談に応じすぐ回答できない場合は職員間で話し合ったり、時には専門家の意見を聞いたりして対応している。・必要に応じて行っている。	・相談をされた際に対応している為、定期的ではない。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・年間計画を立て、計画的に実施している。定期的に開催している。・相談があれば支援するようにしている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談や申し入れがあつた際は都合を調整しながら速やかに対応するよう努めている。・時間を見つけながらできるだけ対応できるよう努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月「りんごだより」を発行している。・毎月1回お便りを発行し、お知らせや月の計画を掲載している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・絵カード等を使い、視覚的な支援を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・コロナの為、今年は難しかった。・地域住民の招待はなかなかないが、活動によっては地域の施設、公園を利用している。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・毎月訓練を行っている。・マニュアルを廊下にはりだしている。	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎月訓練を行っている。・月に1度計画の中で行っている。・毎月グループごとに避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		・年度始めの連絡票で保護者の方に細かく記入してもらっている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者、栄養士、職員との面談の上、「生活管理指標」を提出し対応している。・アレルギー児は医師の診断書を提示してもらっている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・廊下に掲示している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・研修はしていないが、職員間の反省や振り返りの中で意識している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・重要事項説明に記載し、理解を得ている。・身体拘束を行う程の児が該当せず、記載していない。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。